Kosa Style
こうさ スタイル

犯罪や非行に陥った人々の社会復帰に地域全体で支援を

赤星 良一さん
Akahoshi Ryoichi
〔緑町区〕

あかほし・りょういち / 甲佐町保護司会長。法務大臣から委嘱された保護司として、犯罪や非行に陥った人々の社会復帰の支援活動などに従事。

「最近は、成長する上で大事な時期を迎えた子どもたちの様子を、周りの大人が見て見ぬふりをする風習が見られる」と懸念を抱くのは、甲佐町保護司会の会長を務める赤星良一さん。

保護司は、犯罪や非行に陥った人々の更生や改善を支援する活動を行う法務大臣から委嘱されたボランティア。社会的な信望の厚い民間人として保護観察に当たり、刑務所や少年院などから社会復帰を果たす人々を支援。また、暮らしやすい安心・安全な地域社会を目指して、7月の「社会を明るくする運動」強化月間で啓発パレードを展開するなど、地域での犯罪予防運動にも積極的に取り組む。

「頼まれたら、断れない性格なもので」と苦笑いの赤星さんは、保護司を引き受けて7年目。甲佐町保護司会は現在7人の保護司で構成され、犯罪や非行をした人々への指導や援助などに奔走し、「今では、非常にやりがいを感じている」と語る。

「今まで接した保護観察対象者の中には、心を開かず、話に耳を傾けず、気持ちがなかなか変わってくれなかった人もいた」と悩みは深い。しかし、未成年者などの対象者には「『じいちゃんと孫』という関係をイメージして、愛情を持って話をすること」を常に心掛けて、非行に走った若者の将来を案じて活動に従事する。

つまずいてしまった人生の立ち直りを手伝う難しい支援に取り組む赤星さん。「保護観察期間が終わって半年や1年後に、就職・結婚の報告や子どもの顔を見せに来ていただいたときが、一番うれしい」と喜び、満面の笑みを浮かべる。

活動を通して強く感じることは、「支援する未成年者を見てきた中では、家庭で甘やかすところが多い。小学校の高学年ごろからは、わが子のために厳しくしつけをしてほしい」と苦言。そして、「他人の子どもも自分の子どものように見守っていただき、地域全体で地域の子どもとして育てるような社会になれば」と明るい未来を願う。

広報 こうさ
2012年（平成24年）8月号
通巻517号

発行・甲佐町　発行人・甲佐町長 奥名克美　編集・企画財政課　住所・〒861-4696 熊本県上益城郡甲佐町大字豊内719番地4　TEL096-234-1154
URL・http://www.town.kosa.kumamoto.jp/　E-mail・klg103@town.kosa.lg.jp　※本紙は再生紙を使用しています。